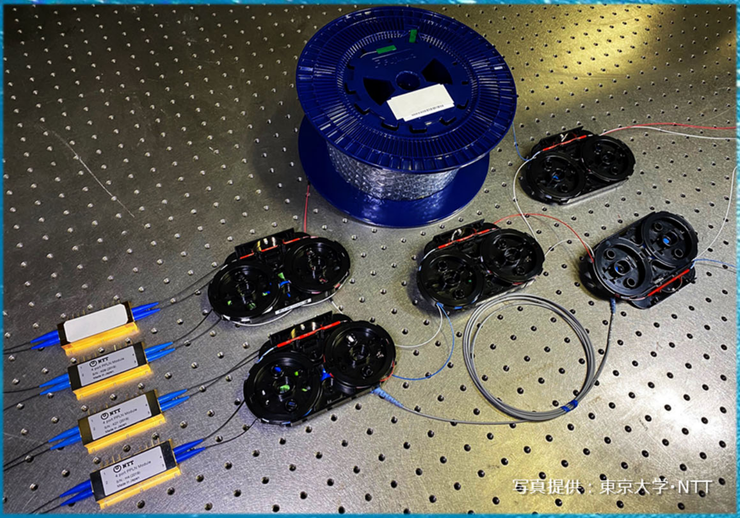
【一般公開】

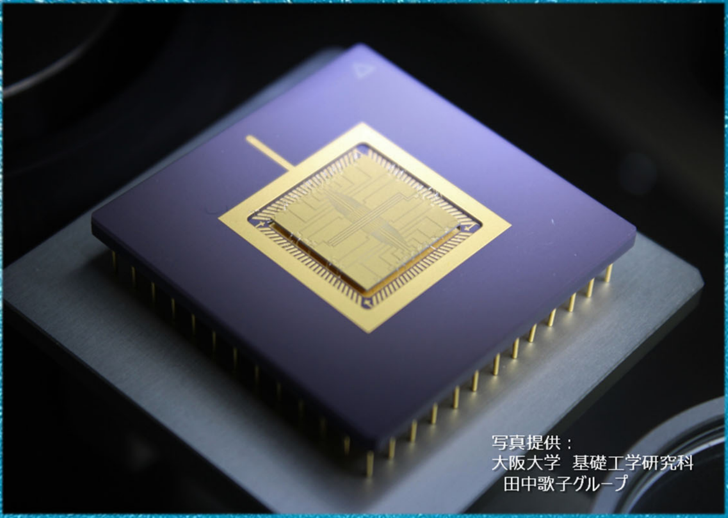
量子コンピュータ：システム構築のための技術と期待されるアプリケーション（Ⅱ）

近年目覚ましく進展している量子コンピュータ研究開発を議論する場として、前回の応用物理学会秋季学術講演会にてシンポジウム「量子コンピュータ：システム構築のための技術と期待されるアプリケーション」を開催しました。この春季学術講演会では、続編をエレクトロニクス実装学会との共同企画で開催します。シンポジウム前半では、ハードウェアを取り上げます。海外ベンチャーの動きも活発な光量子コンピュータ、イオントラップなどについて、業界の動向に触れながら技術課題や展望について講演いただきます。シンポジウムの後半では、今回も量子コンピュータのアプリケーションを取り上げます。量子コンピュータを使う必要性や、どのようなことができると期待しているのかについて、事例を交えながら講演いただきます。

3月24日

13:30～18:05


写真提供：東京大学・NTT


写真提供：
大阪大学 基礎工学研究科
田中歌子グループ

講演者と講演タイトル

辰巳 哲也（JSAP副会長）	オープニング
佐藤 信太郎（富士通）	イントロダクトリートーク
古澤 明（東京大学）	量子テレポーテーションを用いた光量子コンピューターとその応用
田中 歌子（大阪大学）	量子情報技術分野におけるオンチップ・イオントラップ
野口 篤史（東京大学）	超伝導量子回路と電子トラップを用いたハイブリッド量子系
山道 新太郎（日本IBM）	Future of Computing - ゲート型商用量子コンピュータの導入
平井 宏俊（豊田中央研究所）	材料開発に向けた量子アプリケーション研究開発 ～量子化学計算と量子ダイナミクス計算～
佐藤 弘一（ブリヂストン）	タイヤ材料開発への量子コンピュータ活用に向けた取組み
金子 和哉 （みずほ第一ファイナンシャルテクノロジー）	金融業界における量子コンピューティングの活用可能性と現在の取り組み
折井 靖光（JIEP副会長）	クロージング

企画：応用物理学会インダストリアルチャプター・量子情報工学研究会
エレクトロニクス実装学会

お問合せ：meeting@jsap.or.jp